

はばたき

1978



財団法人
神戸王子動物園協会

第7号

動物園ニュース

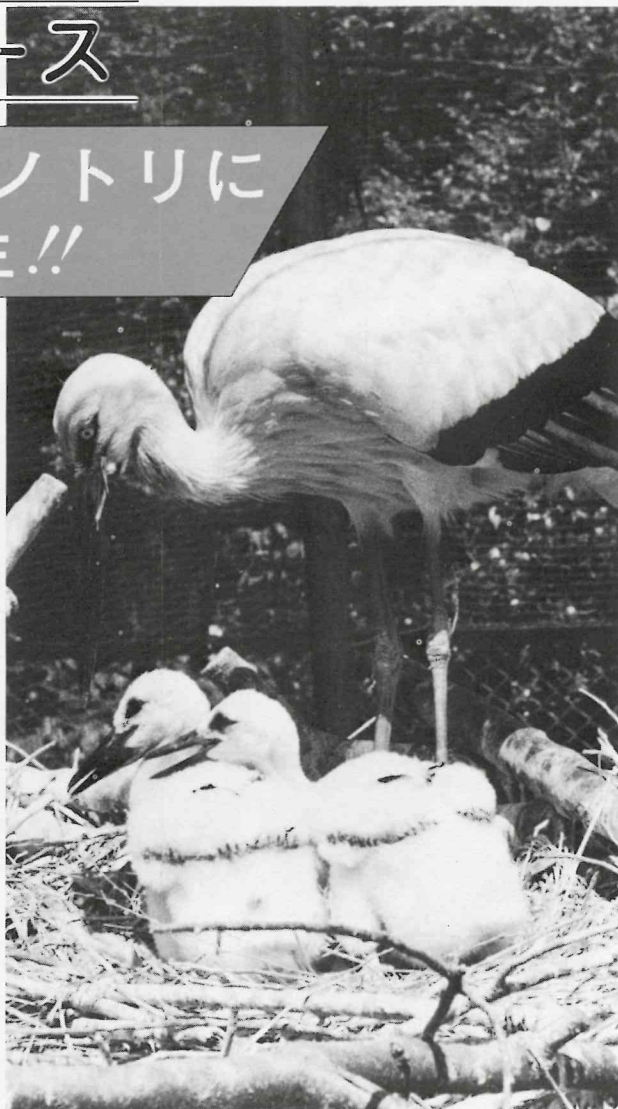
混血コウノトリに二世が誕生!!

●世界で初めて

いまから7年前の昭和46年4月に当園で、わが国では初めて、中国産コウノトリとヨーロッパ産シュバシコウ（ヨーロッパコウノトリ）との間に「混血コウノトリ」のふ化に成功し話題となりましたが、こんどはこの混血同志のカップルから「ひな」（混血コウノトリ二世）が誕生し、元気で育っています。

この「混血二世」のひなは、3月のはじめに生み落とされた四つの卵のうち2個で、4月5日と6日に、親鳥が温めて自然ふ化したもので、抱卵期は約30日でした。あとの2個は残念ながらかえりませんでした。ひなの性別はまだ分かりませんが、4月27日までに、いずれも体高約40センチ、体重1.6~1.9キログラムまでに成長しました。ふ化当初は親がえさを与えなかったため人工給餌をおこないましたが、しだいに親がえさを与えるようになったのです。ひなはコウノトリ舎の高さ3メートルの巣塔の上で立ったり、すわったりして首をふるだけですが、あと3カ月もすれば、巣離れをするはずです。

二羽の容姿については一年たってみないと確定はできませんが、今のところ、くちばしは先が



黒く、根元が赤、羽根は灰色がかった白色で、羽根の色以外は一世とそっくりです。

祖父にあたる中国産のコウノトリは、昭和41年6月に中国の北京動物園から「親善動物交換特使」として当園のファンボルトペンギンと交換に6羽が贈られてきたものですが、けんかをよくするため、別々の鳥舎に入れられていたが、そのうちの一羽が、前から隣りにいた、シュバシコウ（ヨーロッパコウノトリ）と大へん仲良くなり、昭和46年にこの二羽の間に、それぞれの特徴をもった混血コウノトリが、世界で

表紙写真説明

広々とした運動場でくつろぐライオンの家族。

初めて生まれました。この混血一世は、その頃は7羽もいましたが、3羽は「闘争死」し、現在、二組のカップル（4羽）だけとなり、このたびのひな「混血二世」はこのうちの一組から誕生したものです。

このたびの「混血二世誕生」は世界でも初めてのことであり、今まで異種間の混血は繁殖能力

がないといわれていましたが、こんどの二世誕生で、中国産コウノトリとシュバシコウ（ヨーロッパコウノトリ）が極めて近い関係にあることが改めて立証されたわけです。

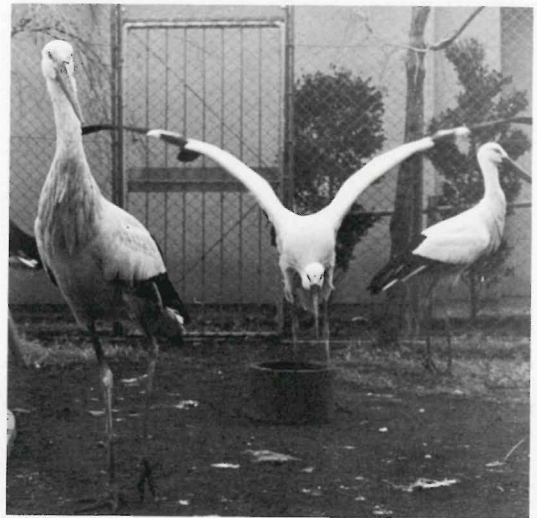
これからは、混血二世をアジア系のコウノトリと交配させ、コウノトリの血をできるだけ残すところみをしたいものです。

【参 考】

(1) 誕生までの経過

- 昭和30年2月、シュバシコウを動物商より導入
 昭和41年6月 中国・北京動物園よりフンボルトペンギンの交換動物としてコウノトリが当園に来園。
- ✧ 45年5月 上記のコウノトリ（オス）とシュバシコウ（メス）を同居させる。
 - ✧ 46年4月 産卵し、1羽ふ化に成功、育成。
 - ✧ 47年4月 1羽ふ化、育成。
 - ✧ 47年6月 6羽ふ化、5羽育成。計7羽となる。
 - ✧ 51年6月 2組のカップルができ、産卵したが、ふ化せず。
 （この間、カップルから外れた3羽は闘争死）
 - ✧ 52年6月 産卵、1羽ふ化したが死亡。
 - ✧ 53年4月 2組のカップルが産卵したが、うちA組は4個産卵し2羽ふ化した。B組は無性卵であった。

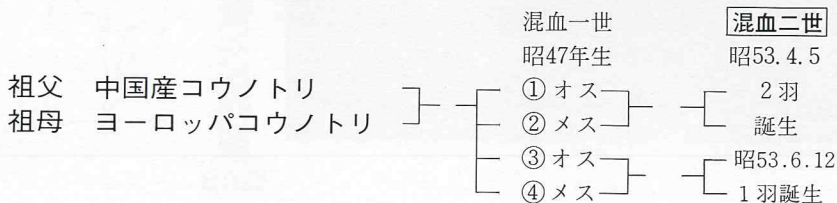
- 日本、朝鮮、中国東北部、沿海州に分布するのはコウノトリとよばれ、大形で、くちばしが黒い。
- ヨーロッパと北アフリカに分布するのはシュバシコウとよばれ、コウノトリより小形で、くちばしが赤い。
- その他中央アジアには、大形でくちばしの赤いオオシュバシコウがいる。



(2) コウノトリについて

- コウノトリ目、コウノトリ科に属し、3亜種がある。

混血コウノトリの家系図



放養式猛獣舎が完成

＝ミニ・サファリのオープン＝

昭和53年4月25日、全国でも珍しい猛獣用の放養式猛獣舎、(ミニ・サファリ)の完成式と一般公開が行なわれました。完成式には、宮崎辰雄市長をはじめ、市会正副議長、そして稗田幼稚園児250人も参加し、動物を代表して、この2月に生れたばかりのピューマの赤ちゃんも一しょに、シャッター・オープニングのボタンを押しました。

今までの動物舎は鉄棒や金網でかこまれ動物の運動場はひじょうに狭いものが多く、動物にとって好ましいものではありませんでした。こんどの「放養式猛獣舎」はこのような欠点を少なくし、仕切りが高い壁や掘で、運動場をでき

るだけ広くとり、動物の習性に適した環境に改善された施設といえましょう。

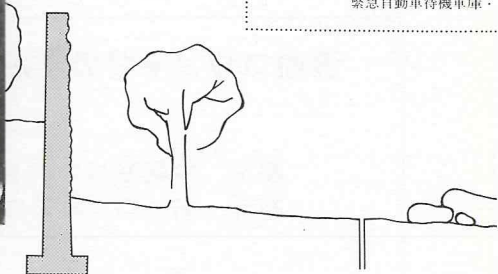
真新しい放養舎は鉄筋コンクリート二階建てで、延べ1300平方米、白壁、こげ茶屋根のスマートな建物で、一見マンション風といったところ。一階はトラ、クマ、ライオンの各寝室と雨天のときの観覧道路となっており調理室もあります。

高さ5米の擁壁にかこまれた獣舎は、ライオン1020平方米、トラ700平方米、クマは80平方米と70平方米が、それぞれ二つずつで、運動場には岩や池、熱帯樹もあって自然味もたっぷりです。



施設のあらまし

- 建物—鉄筋コンクリート造 2
- 延床面積—1,322㎡
- 運動場—トラ700㎡ ライオン1
- クマ80㎡(2)70㎡(2)
- よう壁—高さ5m 延長173m
- その他—冷房設備(屋内観覧通
- 非常用電動シャッター
- 緊急自動車待機車庫





わが国では初めて

わが国では当園だけしかいないシベリアトラ夫婦に、昭和52年9月29日早朝、待望の赤ちゃん3頭が誕生しました。ところが未熟児だったので、2頭はまもなく死亡し、1頭だけが人工保育器の中でがんばりつづけ、元気に育っています。シベリアトラの誕生は、もちろんわが国では初めてです。

両親のシベリアトラ夫婦は、昭和51年8月アメリカ、サンジェゴ動物園から贈られた「サー

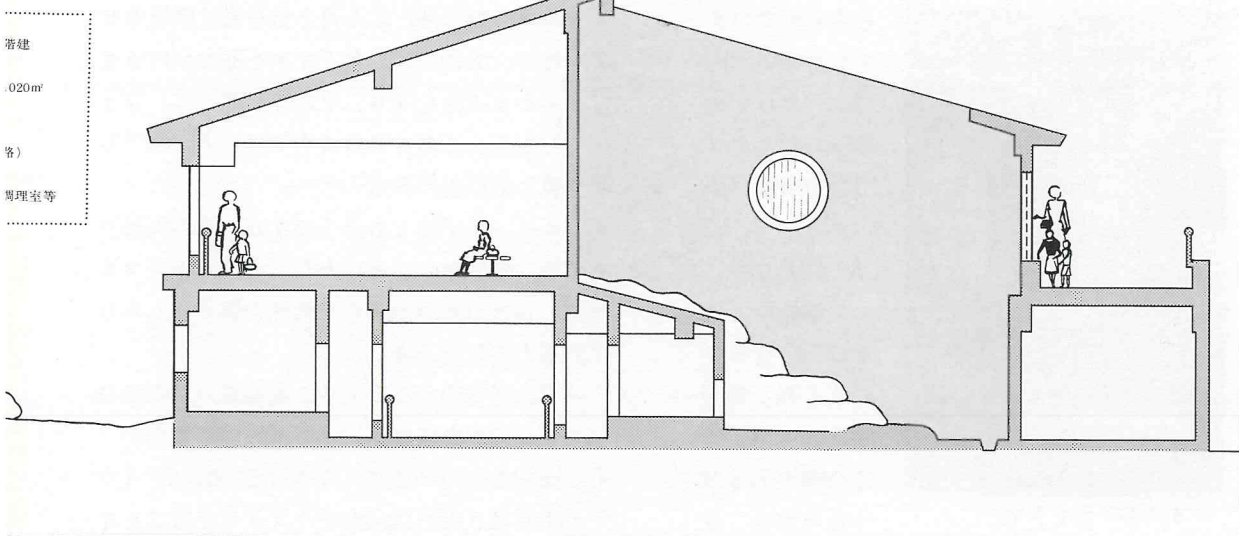
シベリアトラに赤ちゃん誕生

ナー」(オス、3才11カ月)と昭和52年2月に西ドイツ、ハーゲンバック動物園から寄贈を受けた「ナディア」(メス、5才6カ月)で、3頭の赤ちゃんは、いずれも体重600~900グラム(標準体重は1000~1500グラム)の未熟児で、生まれた翌日に1頭(メス、体重750グラム)、また翌々日にもう1頭(メス600)が死亡し、体重が900グラムで一番重かった、オスの赤ちゃんだけが何とか生き残ったのです。

ところが母親「ナディア」の母乳の出が悪く、母親まかせでは成育が危ぶまれる状態だったので、この1頭を親から取り上げて、人工保育器に入れ、手厚い看病をつづけました。

人工保育器は旧式ながらの人間の赤ちゃん用につくられたもので、電熱器や毛布が敷かれ、飼育係がつきっきりで1回100c.c.の動物用人工乳を1日4回与えていったのです。

母親の「ナディア」は以前にサンジェゴ動物園にいたときも早産した経歴があり、今回の未熟児出産も、母体に何かの原因があったように思われます。



アライグマ

ラスカル君の ひとり旅

コンテナ船で一カ月



昭和52年の暮れもおしこめた12月27日のこと、神戸港第7突堤の荷さばき場で、輸入粉ミルクの入ったコンテナパンを作業員が開けたところ、隅っこに小さな動物がうずくまっているのを見つけ取り押ました。何と黒地に灰色のまだらもようのある体長約60センチのアライグマだったので。

このコンテナ船は川崎汽船のベラザノブリッジ号（39154トン）で11月28日にカナダのセント・ジョン港を出港し、パナマ運河経由で神戸港へ入港したもので、セント・ジョン港でのコンテナ詰めの際にさいまぎれ込んだものではないかと

とみられています。コンテナ内での一カ月を積み荷の粉ミルクで食いつないでいたらしく、22.6キロ入りのミルク紙袋を8コも破って食べていました。神戸税関からの依頼で当園が引き取ったその日、さ

っそく、長旅でさぞ飢えているだろうと、水と魚と肉をたっぷり与えてやると、水よりも、まっ先に肉とアジにむさぼりつき最後にゆっくりと水をのんでいました。そのときセックスチェックしたら、メスだったので飼育員みんなが大歓声をあげたのです。それもそのはず、今いる2頭のアライグマは、オスばかりで3年以上も嫁さがしの最中だったからです。きっとすぐにでも同居するにちがいないと、オス2頭と同居させました。とたんに「ギャウー」と、たがいに激しくキバで応戦、5分もたたないうちに血をみるさわぎ、すぐに分けてしまいました。

その後、ひと月、ふた月と気を見て同居させましたが、このメス、全くオスを寄せつけません。あくまで身を守り、その操の固さに、ひょっとしたら、このメスはカナダで、夫婦水いらずで暮していたのかも……。

キツネも、オオカミもそうですが、その夫婦のきずなは生涯づくといわれこのアライグマもまた、ひとつがいで暮らす習性の強さをしめしているのでしょうか。

いや、どうやらこのメス、北方系のもので毛ぶかく、やや面長な顔。オスたちは南方系で、毛は短くずんぐりタイプ、なるほど、広いアメリカ大陸の北と南では同じアライグマでもこんな



オスのアライグマ

にちがうのですね。

でも、ご安心下さい。半年後の5月初旬、めでたく同居に成功しています。

【参考】

アライグマ(英名RACCOON)

カナダ南部からアメリカ全土、南アメリカの一部、水辺の森や茂みに住み、ほんとは夜行性で、暗くなってからエサを探す。カエル、カニ、魚介、昆虫、

果物とかなりの雑食性で、顔はタヌキに似ているがイヌ科ではない。クマに近く、足のうらをかかともでつけて歩く蹠行性(ベタ足)しかも手と足を同じに出す側対歩(ベージング)とクマに近い。

さて「ほんとに何でも洗うのだろうか」

たしかに握力のある手で肉や魚を持って食べるが必ずしも洗っては食べない。よいかげん食べたあとに、水の中へつけては何となく洗っている。きれいな水をせっかく入れてやってもすぐによごし、そのよごれた水にわざときれいなエサをつける彼らのこの「物洗い行動」は今もなおナゾとされている。

珍獣「オセロット」が到着

シアトル市からプレゼント

昭和53年3月25日、神戸の姉妹都市であるアメリカ・シアトル市のウッド・ランド・パーク動物園から珍獣「オセロット」のつがいが贈られてきました。

日本では7か所の動物園で12匹が飼育されていますが、神戸には初めての登場です。

オセロットはスペイン語で「野性のトラ」という意味で、中南米の森林地帯に住むネコ科の動物です。淡い色の地に、黒いリング状の斑点がクサリ状に連なっており、ほおに2本、首に4~5本の黒い線が走っています。夜行性で、木のぼりがうまく、サルや小鳥をとったりします。またその美しい毛皮が珍重されて乱獲されたので、現在では国際保護動物に指定され

ています。

シアトル市から飛行機で送られてきたオセロットは、オスの「フェリー」が2才で体重38キロ、メスの「ローゼ」は3才、37キロで体長は2匹とも70センチ、尾の長さが35センチの成獣で、ちょうどネコとヒョウの間ぐらいの「ジャンボネコ」といった姿です。

現在、中型猛獣舎に収容されていますが、食欲はいたっておう盛で、毎日、二匹で馬肉や鶏肉800グラムと牛乳200ccをペロリと平らげています。

ところで、この夫婦、動物園到着後、僅か114日めの朝、つまり昭53.7.17.2仔をめめでたく出産してくれました。

しかし、哺乳の様子がなく、子が弱ってきたため、人工で育てられています。



● 動物園日誌

◇52・5・31

キリン大使再び天津市へ



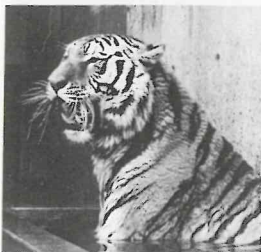
神戸市が友好都市の天津市へ贈る2頭目のキリンが神戸港を出港しました。昨年1月17日に誕生したマサイ種のメスで1才4カ月。背たけ2.7メートル、体重約300キロで、人間でいえば6～7才というかわいい「お嫁さん」です。昨年7月に当園から贈られた、天津市の水上公園動物舎に飼われているオス（2才4カ月）とお見合いしたあと、スイートホームをつくることになっています。神戸市から昨年7月の地震見舞をかねて多田土木局長と谷岡当園副園長米沢飼育員が同行しました。

6月17日に帰国した谷岡副園長の話では、キリンの天津新港到着は6月4日の夕方、さっそく水上公園のキリン舎へと行きました。

昨年7月にプレゼントされた当園生まれのオスは、体長4米ほどに成長し、今回のメスもシャンデリアの輝くデラックスなキリン舎に同居することになり、近く天津っ子たちから愛称を募集するということです。

◇52・6・5

シベリアトラ「サーナー君」 の体重



当園の人気者、シベリアトラの「サーナー君」の体重を当てる「シベリアトラを量る会」（神戸市計量検査

所、当園主催）が6月5日の昼、猛獣舎で行なわれました。体長約2.5米、胴まわりおよそ2米、頭の大きさだけでも長さ60センチはあるという巨体だけに、来園者たちも思案顔でした。4,000をこす投票の予想体重は千差万別。計量台の上で昼寝中の「サーナー君」、約200人の見物の前で計量器に電流を通じると、オリの前の電光器に「211キロ」の字がくっきりとでて、見事「ズバリ賞」をえたのは灘区上野通3ノ4、中野洋伸ちゃん＝摩耶幼稚園＝とほか4人でした。

◇52・6・9

日本で初めて「ヨーロッパフラミンゴ」の 人工ふ化に成功



ヨーロッパフラミンゴの卵が当園で生まれたのは初めてで、親が抱卵しないため、すぐにふ卵器へ入れました。それが6月9日の朝、見事ふ化に成功、体高15センチの灰色をしたヒナがかわいい姿を現わしました。ふ卵器でふ化させたヒナは、親のもとに戻しても育たないことが多いため、

育すう器に入れて育てることにしました。えさはニンジン、トマト、リンゴ、ミカン、青菜をすりつぶし、牛乳と卵を混ぜてガーゼでろ過したものにビタミン剤などを加え、一日に3～4回スポイドで与えています。フラミンゴの繁殖はこれまで、キューバ、チリ種などは大阪の天王寺動物園などで成功していますが、全国で70～80羽しかいないヨーロッパ種としては当園が日本では初めてです。

● 動物園日誌

◇52・6・2～14

アシカの赤ちゃんも 生まれる



当園のアシカ舎で6頭のうち、2頭のメスが、6月2日と14日に、相ついで一頭ずつ赤ちゃんを生みました。昨年と一昨年につづいて、三年連続して2頭ずつ誕生したことになります。赤ちゃんの体長は約50センチで、母親よりも、やや薄い灰色がかった黒茶色で、さっそくプールで泳いだり、日なたぼっこをしながら、エーッ、エーッとアシカ特有の声を張り上げています。

◇52・9・20

カバの「茶目子」が 表彰をうける



神戸市動物愛護協会(宮崎喜美子会長)は9月20日から始まる「動物愛護週間」の記念行事として、最多産記録を樹立した当園のカバ「茶目子」(メス、24歳)を功労動物として表彰しました。茶目子は35年6月の初産から今年7月30日までに11頭もの子供を産み、日本での最多産記録を達成しました。当園へきたのは、32年5月で「カバ男」(10歳)の姉さん女房です。これまでにオス7頭、メス4頭を産んでいます。

◇53・1・4

動物たちも週休制へ

動物たちにも定期的な休養を与えるため、当園でも1月4日から週休制を取り入れることになりました。これまで年末年始(12月29日～1月1日)の4日間以外は無休だったのですが、動物たちは多くの入園者による混雑、騒音、ほこりなどにさらされてストレスが高まり、サルの中にはノイローゼ状態になって自分の毛をむしったりするケースや、観客が与える菓子などを食べすぎて消化器をこわすキリンやロバの例もあって、週一度でも入園者のいない静かな一日を与えてやることになりました。

水曜日の入園者は一週間のうちでも、木、金曜について入園者が少ないなどから、毎週水曜日を休園日としました。そして動物の健康管理と効率的な繁殖を図ることにしています。

◇53・4・11

キリンの赤ちゃん誕生

父親は「長男」(12歳)、母親は「こづえ」(9歳)で、4月11日午前9時45分に出産。30分後には、しっかりした足どりで立上り、昼前にはカブよくおっぱいを飲みはじめました。メスで、身長は約1.8メートル、体重80キロで、人間の大人を上回る「ジャンボベビー」です。

母親の「こづえ」は三度目のお産ですが、すこぶる元気で、育児もベテランです。

当園のキリンの出産は、ここ10年間で13頭にもなり、四頭いるメスのうち「高子」も妊娠中で、8月には出産の予定です。

● 動物園日誌

◇53・4・14

こんどはヒョウの赤ちゃん

両親は一昨年10月20日に当園へやってきたつがいですが、4月14日の早朝に赤ちゃんを生みました。出産は一頭で、身長約30センチ、体重500グラムで、ちょうどネコほどの大きさです。

色は黄色ではなく、まっ黒でした。現在は母乳でスクスク育っていますが、親が抱きかかえているため、性別はわかりません。ヒョウの赤ちゃんが当園で生まれるのは31年12月8日の三頭以来のことで、実に22年ぶり、そのうえヒョウがクロヒョウを生んだと飼育係員のよろこびもひとしおです。

小学生のための

＝第7回動物園サマースクール＝

— 世界中の動物たちは、みな私たち人間とおなじように生きてくらしています。どんなものを食べ、どのようにしてねむり、どんなことを心に思っているのでしょうか。

私たち人間は、それぞれの動物を正しく知り、あたたかく守ってやりましょう。—

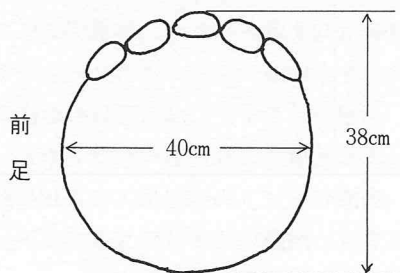
小学生のための「第7回王子動物園サマースクール」が、8月2日にひらかれました。このたびは、ゾウの一日とバクの飼育について勉強をしました。

- (1) ゾウの一日
- (2) マレーバクを飼育する

■王子動物園で飼育しているインドゾウ

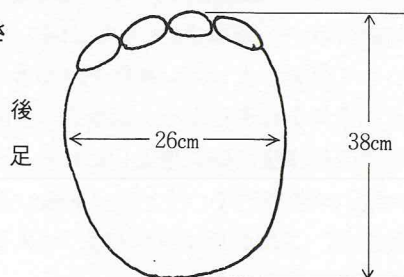
オス(太郎)34さい 背の高さ260cm 4.2トン

メス(すわ子)35さい 背の高さ270cm 3.8トン



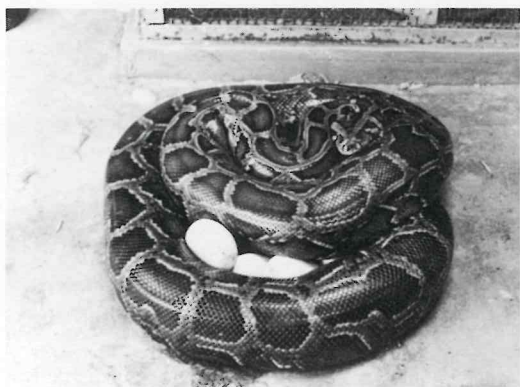
前足は横に少し長い。

◎足の大きさ



後足は前足より小さく、たてに長い。

なぜなぜ動物問答



問1 「ヘビは卵からふ化するものだと思っていましたが、子ヘビを産むものがあると聞きました。ほんとうでしょうか」

(答) ふつうヘビは卵生といって、鳥と同じく卵からふ化するのです。しかし、例外として日本産のヘビではマムシが子ヘビを生むようなかたちになります。これは親の輸卵管の中で子ヘビが卵からふ化してしまい、そののち総排泄腔から生みだされるのです。そこで、このような子ヘビになって生みだされるものを「卵胎生」というのです。

このような卵胎生の代表的なものにはマムシのほか、亜熱帯アメリカのボア、南西諸島のヒロオウミヘビ。などがいますが、体内でふ化した子ヘビはもちろん、口からではなく総排泄腔から生みだされるのです。

1回の産卵数はふつう10~20個ぐらいですが、ニシキヘビでは30~50個も生みます。また、ふ化日数は30~40日ぐらいのヘビが最も多いようですが、1967年上野でふ化したインドニシキヘビの例では80個の卵を生み、76頭の子ヘビがふ化しています。そのふ化日数は57日でした。

問2 「ヘビの尾はどこからなんでしょう。それにオスとメスの見分け方を教えてください。」

(答) 細長いからだのヘビの尾はほんとうに見分けにくいものです。そこでちょっとひっくり返して腹面を見ます。首から胴にかけて、腹面には腹板(ふくばん)とよぶ巾広いウロコがきれいつらなっています。その数が脊椎(せきつい)とほど同じアオダイショウでは約240個ありますが、その巾広い腹板の一番最後の一枚が少し大きくなっているのが分ります。その大きいウロコを肛板とよびますが、実はその肛板の下に肛門があるのです。(ヘビやカメ、トカゲなどは総排出腔とよぶ)

みなさんもうお分りでしょう。つまり、その肛門から先の部分が尾でありしっぽであるわけですね。

さて、次はオスとメスの見分け方ですが、実はその肛門部にヘビの生殖器があります。しかし、そう簡単にひっくりかえすこともできませんので、その尾の長さでもオス、メスの区別のめやすになります。なるほど、じっくり見ますとオスの方が肛門部からの尾が胴とほぼ同じ太さでかなり長いことが分ります。

つまりオスの尾は太くて長いのです。一方メスの方は肛門部から急に細くオスにくらべ短い、つまりメスの尾は細くて短いのです。

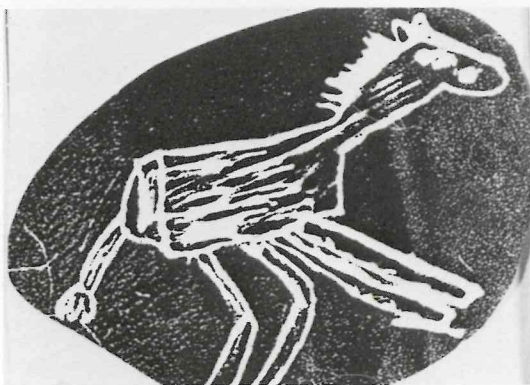
昭和52年度

うま年の賀状版画コンクール入賞者

今年もひろく県下から幼小中高校生をはじめ一般からも総数3227点にのぼる応募作品がよせられましたがそのうちから審査の結果、神戸市長賞など特別賞7点、金賞30点、銀賞100点、計137点が入選しました。

以下は特別賞入賞の作品と入賞者の氏名です。

神戸市教育委員会賞



重池幼稚園5才 こんの すすむ

神戸市長賞



長田小学校2年 高岡 真理

神戸新聞社賞



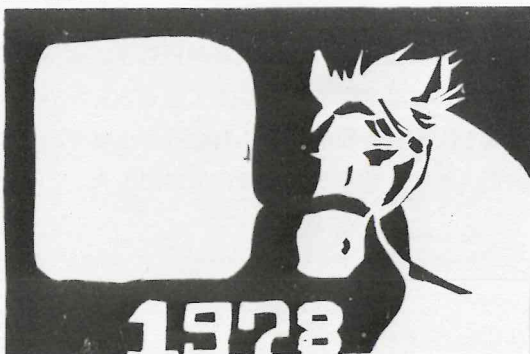
多聞台小学校3年 島川 みさ

王子動物園長賞



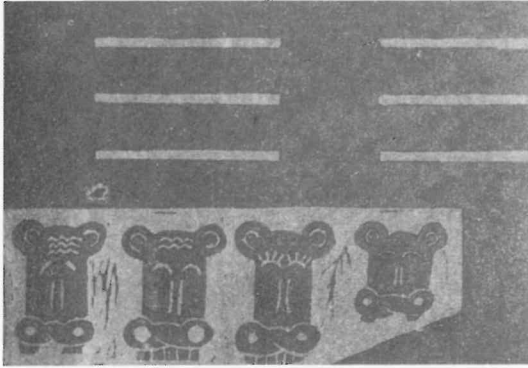
板宿小学校1年 坂田 とみお

サン・テレビ賞



本山小学校2年 川角 朝美

動物愛護協会長賞



稲美中学校3年 植田 雅彦

王子動物園協会長賞



平野小学校4年 岸本のり明

金 賞

山井 伯 仁	善隣幼稚園	5才
くりさきいずみ	神視保育園	4才
上杉 たけのぶ	神港みどり幼稚園	〃
伊藤 缶 夫	菅の台小学校	1年
さかぐちなおこ	蓮池小学校	〃
はたにまさみ	蓮池小学校	2年
山本 かずみ	板宿小学校	〃
本城 淳 子	住吉小学校	3年
久恒 有 美	水木小学校	〃
沢野 多嘉子	平野小学校	4年
岩国 真一郎	平野小学校	〃
松下 弘 一	平野小学校	〃
輔老 心	南五葉小学校	〃
池谷 俊 幸	平野小学校	5年
片山 優 子	菅の台小学校	〃
高岡 真 弓	長田小学校	〃
坂本 慶	湊山小学校	6年
伊藤 昌 子	平野小学校	〃
安田 裕 子	橘小学校	〃
大西 英 喜	稲美中学校	1年
長谷川 豊	押部谷中学校	〃
細井 久 寿	西代中学校	〃
石黒 伸 幸	御影中学校	2年

出口 文 子	稲美中学校	3年
実 未 直 美	垂水中学校	〃
小川 ひとみ	垂水中学校	〃
田中 由 美	御影高校	
中多 裕 幸	御影高校	
輔老 絢 子	北区南五葉2丁目 4-18-302	一般
大橋 真 平	東灘区深江南町2丁目 11-13	

銀 賞

田 淵 利 絵	須磨区菅の台2丁目 17-401	4才
ひらやまひろこ	神視保育園	5才
平井 一 恵	泉が丘幼稚園	〃
てらおかようじろう	神視保育園	〃
おおふじゆかり	大社幼稚園	〃
加藤 淳 也	近田幼稚園	〃
宮平 たかひろ	平田幼稚園	
蔵元 英 樹	垂水幼稚園	
大和 紀 子	垂水幼稚園	
かとうそうすけ	西郷幼稚園	6才

あらかね まき	西郷幼稚園	6才	寒河江 俊 久	本山中学校	1年
いしばしのぶえ	西郷幼稚園	〃	中 村 美智子	本山中学校	2年
西 森 龍 一	大池幼稚園	〃	若 本 厚 子	御影中学校	〃
平 田 典	大池幼稚園	〃	細 見 正 明	垂水中学校	3年
かくだたかひと	西須磨小学校	1年	野 口 仁	〃	〃
小 高 真 二	五位ノ池小学校	〃	神 田 太 郎	〃	〃
かくだひでかず	西須磨小学校	2年	尾 崎 正 博	〃	〃
安 井よしひろ	五位ノ池小学校	〃	福 田 信 治	〃	〃
本 田 政一郎	多聞台小学校	3年	岡 内 晴 彦	〃	〃
松 浦 正 浩	多聞台小学校	〃	宮 田 博 之	〃	〃
山 内 たつみ	多聞台小学校	〃	小 坂 美津代	〃	〃
正 亀 伸 幸	川池小学校	〃	犬 童 浩 美	〃	〃
田原 よしひこ	板宿小学校	〃	矢 部 久 美	〃	〃
岩 本 喜 一	富合小学校	4年	平 岡 美和子	〃	〃
藤 川 重 春	富合小学校	〃	上 田 和 子	〃	〃
藤 川 重 春	富合小学校	〃	藤 田 善 子	〃	〃
別 府 まゆみ	富合小学校	〃	鈴 木 照 代	〃	〃
青 木 賢太郎	有野台小学校	〃	丸 尾 咲 子	〃	〃
沢 田 佳 恵	有野台小学校	〃	大 森 敦 子	〃	〃
大 沢 良 哲	平野小学校	〃	田 口 佳 子	〃	〃
岡 山 克 之	高羽小学校	〃	金 田 和 枝	〃	〃
田 中 え み	有野台小学校	5年	山 口 桂 司	稲美中学校	〃
中 田 和 江	有野台小学校	〃	丸 尾 喜 之	〃	〃
三 木 陽 子	平野小学校	〃	藤 本 勝 浩	〃	〃
森 山 剛	菅の台小学校	〃	沢 田 和 幸	〃	〃
森 田 啓 一	二宮小学校	〃	森 田 一 郎	〃	〃
金 治 美 和	橘小学校	6年	森 井 広 介	〃	〃
名 生 諭 史	橘小学校	〃	岡 田 彰 久	〃	〃
吉 原 正 博	橘小学校	〃	安 藤 浩 志	〃	〃
紺 田 ちづ子	平野小学校	〃	植 田 達 也	〃	〃
橋 本 隆 一	西須磨小学校	〃	鈴 木 賢 治	〃	〃
知 念 宏 司	有野台小学校	〃	吉 岡 美 雪	〃	〃
坂 本 慶	湊山小学校	〃	平 山 真由美	〃	〃
大 西 浩 和	稲美中学校	1年	水 野 郁 代	〃	〃
森 田 学	稲美中学校	〃	水 野 郁 代	〃	〃
吉 川 龍 一	稲美中学校	〃	藤 原 薫	〃	〃
大 西 美和子	稲美中学校	〃	井 上 久美子	〃	〃
田 中 裕美子	稲美中学校	〃	藤 田 功 子	〃	〃
石 政 潤 二	西代中学校	〃	糴 川 淳 一	御影高等学校	1年
入 谷 仁 得	西代中学校	〃	村 瀬 陽 平	〃	〃
北 村 幸 己	西代中学校	〃	丸 山 浩	〃	〃
小 西 実 孝	西代中学校	〃	中 村 伸	〃	〃
田 中 孝	西代中学校	〃	岡 本 由 香子	〃	〃
徳 山 富 基	西代中学校	〃	甲 斐 寛 子	〃	〃
本 郷 哲 也	西代中学校	〃	清 水 洋 子	〃	〃

編集後記

動物園というところは誠に多士済々で、その仕事も単に動物の管理、飼育というだけでなく、動物知識の普及やこれにともなう出版宣伝等、各事業を行わなくてはならず、その一端を協会が受持っている。

今回の『はばたき』も刊行が予定より少々遅れたが、内容的にむしろ今迄の各号より豊富で動物および動物園の動きをよく報じている。又、内容的にも参考になる記事も含まれており、病床中のこととてどうなることかと心配していたが、かえって見事な出来ばえに感じ入っている次第です。

私に代ってこの編集をやっていただいた亀井一成氏始め関係諸氏に感謝する次第です。

(秋山)



は ば た き 第7号

昭和53年7月15日 発行

編集 財団法人 神戸王子動物園協会
発行

印刷所 浜村企画印刷

神戸市灘区王子町3丁目 TEL 801-5711
(神戸市立王子動物園内)

神戸市兵庫区荒田町4丁目15-8
TEL 521-2233